小規模特認校制度のお知らせについて
※当町では平成 27 年4月から種川小学校が小規模特認校となっております。

小規模特認校とは：恵まれた自然環境や教育環境の中で少人数指導を活かして、児童の心身の健やかな成長を目指し、豊かな人間性を育むための教育活動を展開する小学校で、一定の条件のもとに、通学区域外の児童でも通学が認められる学校です。



対象児童	町内に在住する、町内小学校就学予定児童及び町内小学校在学児童 町外から区域外就学を希望する場合は、住所を有する教育委員会と協議の上、認められた児童
入学要件	通学が可能であること（通学方法はスクールバスを運行） ただし、町外児童については、保護者対応とする。 児童の保護者は特認校の教育活動及びＰＴＡ活動等について十分理解し、積極的に協力すること。
入学時期	４月１日を基本とする。
入学期間	原則として、特認入学時から卒業までとし、夏季・冬季間、その他短期間の時期に限定した転入学は、認めない。
入学手続	在学児童は在籍学校長を通じ教育委員会へ、就学予定児童については直接教育委員会へ就学学校変更許可申請書を提出とする。
募集人員	特認入学の募集人員は、特認校の実態に応じて決定するものとし、募集人員を超えた場合は公開による抽選により決定
募集期間	令和６年８月末まで
学校見学	随時受け付けていますので、種川小学校もしくは教育委員会までお申し込みください。

※ご不明な点等ございましたら、お気軽に教育委員会までお問い合わせください。

【問合せ】教育委員会　学校教育グループ　☎ 82-3488

4月1日から5月31日は春のヒグマ注意特別期間



1．ヒグマに遭遇しないために

○山林内や農作業中は目立つ服装をし、単独では行動しないようにしましょう。
○鈴を携帯するなど、人の存在を早めにヒグマに知らせる工夫をしましょう。
○ヒグマを引き寄せてしまうので、残飯や空き缶などのゴミは必ず持ち帰りましょう。

2．ヒグマに遭遇してしまったら

○背中を見せて逃げると追いかけてくるので危険です。
○子グマに遭遇した場合は、母グマが近くにいる可能性が高く非常に危険です。母グマを刺激しないよう速やかにその場から離れてください。

【問合せ】　檜山振興局環境生活課自然環境係　☎0139-52-6494
今金町農林振興課　耕地林務グループ　☎82-0111

・街頭ＰＲ・巡回広報を実施致します。
午後５時にサイレンを鳴らします。



今金町保健福祉総合計画策定委員会

２月20日、保健福祉総合計画策定委員会が行われ、辻紀英委員長より中島町長へ計画の答申書が手交されました。

新計画では、前計画の内容を踏襲しつつ「住み慣れた自分の地域で元気に暮らし続けることができるまちづくり」をテーマとし令和６年度～令和８年度までの計画を策定しました。

引き続き保健福祉行政の推進に取り組んでいきます。



2024ピリカダム歩くスキーのつどい



２月18日、2024ピリカダム歩くスキーのつどいが、総合型地域スポーツクラブいまかね（山田悟会長）主催により、ピリカダム周辺を会場に行われました。

今年度から参加対象を町外にも拡大し、小学生から大人まで、近隣町から合わせて54名の参加がありました。参加者たちは晴天の中、３キロと５キロのコースを、それぞれのペースで駆け抜け、気持ちの良い汗を流しました。

参加者からは、雪不足の中コース整備をした運営者へのねぎらいや、楽しかったとの声があり、歩くスキーを通じた交流の場となりました。

ピリカ遺跡スノートレッキング



３月10日、ピリカ遺跡の丘を会場にスノーシューをはいて遺跡を散策するスノートレッキングが開催されました。町内外から10名が参加。

道中、地元学芸員から発掘現場についての解説があり、また講師の鎌鹿隆美さん（函館市）からは、雪原に残された動物の足跡当てクイズや今金町の植物や渡島半島の地形の特徴、災害時のサバイバル技術などの話や実演もあり、参加者は興味深く聞き入っていました。往復約４kmの道のりで、出発から帰着まで３時間以上かかりましたが、参加者一同とても満足そうで、「ぜひ来年も企画してほしい!」との声が聞かれました。

第３回ワコウカップスキー大会

２月23日、雪が降るピリカスキー場にて「第３回ワコウカップ近隣小中学生スキー大会」が開催され、50名の参加者が集まりました。

この大会はスキー学習で学んだ成果を発揮する場として開催され、和工建設株式会社や各協力会社が社会貢献活動の一環として、大会運営への協力や多くの協賛品の提供を行っています。

時折雪が舞う天候となりましたが、参加した小中学生の選手たちは、元気いっぱい日ごろの練習の成果を発揮していました。





火災予防運動期間中に、火災予防パレード
また、期間中の４月20日～24日の